

荒海地区において、人と農地の問題解決のための会合が行われ、その結果に基づき人・農地プランを決定したので、下記のとおり公表する。

平成31年3月15日

成田市長 小泉 一成



記

1. 会合の対象とした区域
荒海地区【更新】

2. 会合の結果を取りまとめた年月日
平成31年3月13日

3. 今後の地域の中心となる経営体の状況

○経営体数

個人 15経営体（うち 認定農業者 9経営体）

○農地の集積面積

50.7ha（区域内の農地面積83.6ha、集積率60.6％）

4. 今後の地域農業の在り方

人・農地プランの作成を契機として集落内における話し合いを進めていくことで、農地の出し手と受け手を明確にするなど集落内で共通認識を持ち、プランに基づく農地中間管理事業の活用により、認定農業者など地域の中心となる経営体への農地の集積・集約化を更に進める。

また、低コスト化と農作業の効率化の取組を通じて経営強化を図っていくとともに、農家子弟を中心とした多様な担い手の確保・育成に努める。

加えて、販路拡大や6次産業化、集落営農の設立など、新たな取組についても研究し、地域農業の維持・発展を目指す。